

## 行政視察レポート

2008年6月2日

神谷明彦

期 間 2008年5月14日(水)～5月15日(木)

視察先

- (1) 杉並区立和田中学校
- (2) 杉並区役所
- (3) 足立区役所
- (4) 立川市役所・たちかわ若者サポートステーション

参加者

神谷明彦、齋吉男、平林由仁 以上3名

目 的

- (1) 杉並区立和田中学校・・・民間校長による学校改革(「よのなか」科など)
- (2) 杉並区役所・・・行政サービス民間事業化制度  
(レジ袋有料化、アニメキャラクター「なみすけ」、中杉通り自転車道社会実験 については資料提供のみ)
- (3) 足立区役所・・・あだち提案型事業と協働推進の取り組み
- (4) 立川市役所・・・若年者就労支援(たちかわ若者サポートステーション)  
(たまがわ・みらいパーク「冒険遊び場」 については資料提供のみ)

内 容

5月14日 13:00～15:00 杉並区立和田中学校

杉並区立和田中学校				
生徒数	1年103人	2年158人	3年129人	計390人(11クラス)
教員数	19人 + 講師6人 (副校長は教員と事務方の2人)			
(5年前に民間校長が就任して以来、地域を巻き込んだ学校改革を断行、全国的に話題になる。)				

代田昭久 和田中学校 校長

小林一夫 議会事務局調査担当係長 らが対応。

和田中の学校改革・・・授業参観と代田校長との会見レポート

杉並区立の23中学校では、教委ベースでさまざまな教育改革をしているが、民間校長は和田中1校のみ。今年3月までの5年間で藤原和博前校長が行ってきた教育改革は全国的に話題になった。今でも常時見学者が絶えない。

下町の狭い路地に面した和田中の正門前は静かだったが、玄関に入ると見学者で賑わっていた。校舎は古いが掃除は行き届いている。備え付けのノートに名前と時刻を記入して見学者の首掛けをして校長室へ。校長室には昼休みにマンガを読む2～3人の女子生徒と、来客の合間にあわてて給食をかき込む代田昭久校長が。

代田校長は給食を終えるや否や「付いてきてください」と5時限目の[よのなか]科の授業に飛び出していった。[よのなか]科は、校長自ら各学年週2コマ3回シリーズの授業を年間を通して行う。今回はグループごとに興味のある職業とそれに関連のある職業の関係をマップに表して、全員の前でプレゼンテーションするというもの。

前半は、まず、紆余曲折を経ながら宇宙飛行になる夢をつかんだ野口聡一さん（校長と同年代の42歳）の著書紹介。（成長社会から成熟社会に移行した現在においては価値観も働き方も多様であること。自分のやりたい仕事を見つけるきっかけは意外なところにあることを知ってほしい。）その後、ケネディーの有名な大統領就任演説“Ask not what your country can do for you, ask what you can do for your country.”を紹介。1960年のケネディーとニクソンの大統領選において、ラジオ討論で勝っていたニクソンが、テレビでケネディーに敗れたエピソードをもとに、プレゼンテーションでは何が大切になるか生徒に考えさせた。（プレゼンテーションでは政策やロジックだけでなくビジュアルも大切なこと、その他聞き手の身に立って何が必要かなど）

後半（6時限目）はグループに分かれて仕事の関連性をまとめた「仕事マップ」を完成させるワークショップとグループ発表だった。「傍観は許しません、参加していただきます。」と言われたとおり、我々見学者も、授業で当てられたり、WSではファシリテータになることを求められたり、生徒たちのプレゼンテーションの評価や感想を書かされたりした。

授業では1分考えたあと当てる、25分でプレゼンテーションの準備、プレゼンテーションは3分でなどと、生徒が与えられた時間を有効に使う訓練になっていると感じた。生徒たちはWSでは互いの議論が深まらず頼りなく見えたが、発表は全員参加で元気にやっていた。

校長室に戻ってからお忙しい中、代田校長とお話する時間をいただいた。リクルート出身の起業家だけあって、限られた時間の中、明快できききびとした受け答え。調べればわかるような質問には「そんなことホームページで調べてないんですか？」とたしなめられる。仕事に対する情熱と厳しさを感じた。以下、代田校長のお話やホームページで調べたことをまとめた。

#### <代田氏が藤原氏の後任になった経緯>

㈱リクルートに勤務していた1996年、大学生を対象としたキャリアスクールを立ち上げた。“なぜ自分が働くのか”その理由を見つけられないまま多くの大学生が社会に出てしまう実態（3年で3割が退職）を目の当たりにした。そんな問題意識もあり、2003年に出版された作家村上龍氏の書籍「13歳のハローワーク」の『好きなこと』を早いうちに見つけたほうが人生のアドバンテージになる』というメッセージに大いに共感した。そして、自ら起業した㈱トップアスリートの中心事業として、村上氏らと共に、書籍「13歳のハローワーク」をWeb化し公式サイトとして展開してきた。その活動の実績と経験を和田中学校地域運営本部に評価され、藤原氏の後任として校長に就任（任期3年）した。

成長社会から成熟社会へと大きなパラダイム変換が起こる中で、これからの社会で求められる力も劇的に変化しているにも関わらず、子どもたちへの教育は、成長社会のそれとほとんど変わっていない。学校教育は崩壊しているのではなく、適応できていないのだと思う。

#### <和田中の教育で子どもたちに身につけさせること>

代田氏は、「10年後に子どもたちは世の中の競争にさらされる。勉強しなくてよい（社会を知らなくてよい）というのは詭弁。」と言う。子どもたちに必要とされるチカラは 自分で考える 対話する 耐える力の3つと考えている。

< [よのなか]科について >

[よのなか]科が教えるのは、21世紀の情報社会を生き抜くために必要な5つの生きるチカラ（ロジック、コミュニケーション、シミュレーション、ロールプレイング、プレゼンテーション）だと藤原氏は言う。

「よのなか」科は、中学2ないし3年生の選択授業として、週に1回、1年間でほぼ25~30回のプログラムが可能。それぞれのテーマについて、専門的な知識を持つゲストに来てもらい、生徒はディベートなどを通して、テーマについて考えていく。

学校の教師は正解を得る方法を教えるのは得意だ。しかし、失敗し試行錯誤をしながら「納得解」を得ることについては苦手だ。むしろ、そのような経験はビジネスマンこそが得意。学校の教師と社会人がタッグを組んで子どもたちを教えていくことが重要。

藤原氏の行う研修を通じて全国によのなか科を実践する教員のネットワークが広がりつつある。

以下、模擬授業の実際の模様

ハンバーガー店をどこに出すか？

東京郊外のある地点の地図をもとに、ハンバーガー店の店長となって、どこに出店すればもっとも売り上げをあげられるかを考える。

1. まず各自が考え、出店場所を決定する。
2. 数人ずつのグループに分かれ、選んだ場所とその理由をディスカッションし、グループ毎に決定する。
3. グループ毎の決定場所とその理由を発表し、教師やゲストとともにその結果を分析する。

それぞれのテーマについて、正しい答えがあるわけではなく、いかに説得力のある意見を出せるかが問われるもの。実際の社会のダイナミックな動きを体感できる一種のロールプレイングゲーム、シミュレーションであり、プレゼンテーション能力を養うものだ。

参考：平成13年度のカリキュラムの例

第1回 班決め、ガイダンス

第2回 ハンバーガー店をどこに出すか？

第3回 ゴムと地球とあなたの関係 ゲスト：風船イベント会社社長

第4~7回 家の窓から日本が見える ゲスト：建築家、住宅メーカー社員

第8回 1学期を振り返って

第9~10回 政治とお金のビミョーな関係 ゲスト：参議院議員

第11回 「差異」と「差別」を考える ゲスト：女装家

第12回 「どこまでイジくる？」 ヒトのカラダ

第13~17回 中学生はもう大人？ まだ子ども？ 大人と子どもの境目を考える ゲスト：弁護士

第18~19回 自分のコピーがつくれたら...!? クローン技術と人間の倫理 ゲスト：遺伝子研究者

第20~21回 「よのなか」と「人のいのち」 ゲスト：社会学者

第22回 「神様お願い！」 宗教を考える

< PTAを地域本部に編入し、地域のナナメの関係で学校を支える >

PTA組織を「地域本部（学校内に拠点がある保護者のOB・OGと地域ボランティアでつくる任意団体）」に編入。PTA会長はおかず、「P協」からも脱退。これを機会に、PTAの仕事について大幅な見直しを図る。マンネリを解消、余計な事務負担や必要のないイベントへの参加を軽減し、子どもに向き合う仕事に集中してもらう目的。従来のPTAは『地域本部・現役保護者部会』となる。会費の中から「教員と保

護者の特別研修費」に大きな予算をとって、数名の教員と数名の現役保護者部会役員に交通費を渡し国内留学（たとえば私立校を含む先進校への研修視察）をしてもらう計画もある。

これで、和田中「地域本部」は名実共に「保護者と地域が協力して、子供たちの学びを豊かにするために、教職員だけでは手の届かないサポートをする」学校支援組織に生まれ変わる。

和田中では「地域本部」が、生徒たちの土曜日の学習や平日の図書室の運営、学校の緑の維持管理などをサポートしている。土曜日に英語を3コマ積み増して3年生までに英検準2級（高校2年級）を目指す「英語アドベンチャーコース」や、今年始めに話題になった「夜スペ」（進学塾と組んで平日の夜に英数国の受験勉強をするコース）などは、みな「地域本部」の仕事だ。

これらにより、教員は授業自体と部活を中心とした生活指導に集中することができるようになる。

#### <夜スペシャル>

夜スペは、地域住民や保護者で構成する「地域本部」の主催で、1月にスタート。夜間と土曜日の週4日、大手進学塾「サピックス」の講師が学校の教室で成績上位者を対象（3年生130人中18人）に教えている。全授業合わせた受講料は、通常の半額程度に当たる月2万4000円。

4月になって、3年生の保護者会で「夜スペを受講したい」との声が上がり、希望者を募集。集まった24人に学力診断テストを実施したところ、習熟度にばらつきがあったため、新たに家庭教師派遣業「トライグループ」（千代田区）とも連携。24人は2、3カ月間、現行の夜スペを受け、ついていけない場合はトライの補習を個別に受ける。

代田校長は「もっと学びたいという生徒に学べる機会を多様に与え、支援したい」としている。

#### <授業評価>

中学生一人に義務教育費は100万円かかっている。中学の授業時数は年間約1000コマだから、1人につき1コマ1000円。1000円のチケットを配ったとして、塾やピアノ教室やスイミングスクールより、まず始めに和田中の授業が選ばれるためにはどうしたらいいか？教員とともに徹底的に研究。そのため6月と12月の2回、全生徒による2000点満点の各教員ごとの授業評価とイジメ調査を同時に行い、公開している。校長と教員が面談する際のコミュニケーションツールになっている。

#### 参考サイト

和田中と地域を結ぶページ <http://www.wadachu.info/toppage.php>

和田中 学校経営方針 [http://www.wadachu.info/data/keieishishin\\_2007.pdf](http://www.wadachu.info/data/keieishishin_2007.pdf)

和田中 [よのなか] 科について <http://www.wadachu.info/yononakaka.html>

和田中 授業評価結果 <http://www.wadachu.info/kyouka0707.html>

トップアスリート社長代田昭久インタビュー <http://www.joc-athlete.jp/interview/071026.html>

「13歳のハローワーク」公式サイト 村上龍と対談 [http://www.13hw.com/site\\_open/04.html](http://www.13hw.com/site_open/04.html)

13歳のハローワークマップとは [http://www.13hw.com/about\\_map/](http://www.13hw.com/about_map/)

藤原和博のよのなかnet <http://www.yononaka.net/>

5月14日 15:30～17:00 杉並区役所

杉並区			
人口	54万人(外国人1.1万人)	面積	34km <sup>2</sup>
		合計特殊出生率	0.76
		高齢化率	19%
(青梅街道の杉並木が地名の由来、衆議院議員から転身した山田宏区長の先進的な政策で有名)			
財政規模(20年度予算)	一般会計1546億円	特別会計	959億円(国保、介護、高齢者医療)
H13 H18で、区債残高	865 518億円、	基金残高	203 516億円、
経常収支比率82 72%に改善			

田部井伸子 政策経営部行政管理担当課長

小林一夫 議会事務局調査担当係長 らが対応。

## 行政サービス民間事業化制度

### 1. 制度導入の背景

杉並区民営化・民間委託等の指針

(1) 次の項目を総合的に評価したうえで、民営化・民間委託等を進める。

民間の知恵や力で、サービスの質や量が向上すること

サービス水準を確保しつつ、経費が従前より節減されること

区民の社会参加や雇用創出など、地域の活性化に貢献すること

(2) 事務事業を見直す際には、サービス主体の全面的な「民営化」が可能か検討する。

(3) 民営化が困難な場合には、区を事業主体としたうえで、部分的であれサービスの提供の「民間委託」を検討する。

スマート杉並計画(H17～H22)～区民とつくる小さな区役所で五つ星のサービスを～

(1) 戦略課題を掲げて、行財政改革を推進

区民パワーを活かす施策

質の高いサービスを提供する簡素な区役所

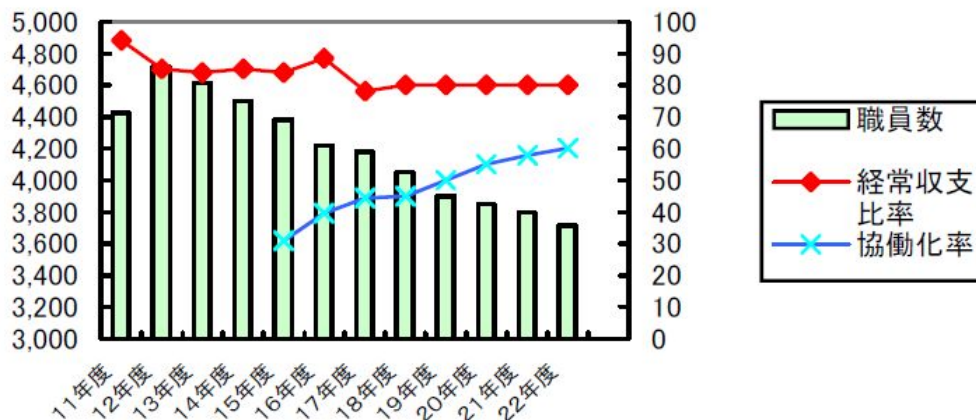
財源の確保と負担の公平化

(2) 戦略目標を設定し実行

経営改革の目標・・・区の仕事の6割をNPOとの協働や民営化・民間委託に移行

財政健全化の目標・・・経常収支比率を80%とする

職員定数削減の目標・・・職員定数1,000人削減



## 2. 制度の創出と概要

### 杉並区行政サービス民間事業化提案制度の創出

- ・民間事業者からの提案を受けることで、すべての事業を再点検する制度を検討
  - H18年4月に検討委員会を設置（大学教授、シンクタンク、企業・NPOの幹部ら7人）
  - H18年10月にモデル事業公募開始、翌2月にモデル事業選定
  - H19年5月に報告書最終とりまとめ

### 制度の特徴

- 区の事務事業をすべて公表し、民間が区の事業枠にとらわれず自由に提案
- 担い手の育成「すぎなみ地域大学」などとの連動
- 民間事業化後のサービスの質や安全管理をモニタリング

### 制度の目的

- (1) 区民サービスの向上
  - 行政の効率化により、行政が新たな課題に先駆的に取り組める
  - 民間の特性を生かした柔軟できめ細かいサービスを実現できる
- (2) 区民参加の拡大
  - 区民やNPOの参加を一層進め、望ましい協働をめざす
- (3) 行政の機能強化・効率化
  - 競争原理による財源の有効活用
  - 業務の見直しによる職員の意識向上
  - 政策立案や調整機能など行政本来の役割を強化
  - 既存の枠にとられない提案により縦割り行政を打破

### 行政の果たすべき役割と協働の可能性

- 政策判断・公権力の行使とともに小さい事務事業は積極的に民間事業化を検討
- 政策判断の度合いが高い・公権力が大きい事務事業については何が行政に留保すべき権力行使に当たるか個別具体的に検証しつつ、民間事業化の可能性を検討

### 民間事業化の対象となる業務を検討する際の評価項目

- 将来性・・・事業者を育成し、協働を広めていけるか
- 地域性・・・地域のニーズとマッチし、地域の活性化を図れるか
- 競争性・・・独占によるコスト増や硬直化から、市場競争が確保されているか
- 採算性・・・事業拡大や信頼性向上につながるか
- 安定性・・・安定した経営基盤を持つ複数の業者が存在するなど、事業の継続性が保証されるか
- 効率性・効果性・・・契約、指導、監督などの新たに発生する業務を含めてもコスト減となり、サービス向上となるか

### 事業の公募・選定の行程

- 公募（事務事業評価表の公表、不明点があれば提案者が所管課と面談）
- 審査（書類審査、「民間事業化審査モニタリング委員会」によるヒアリング）

最終決定（提案の採否・事業者の選定方法）

実施（実施に向けた準備）

#### 審査の基準

##### （１）事業内容について

事務事業全体のコスト減が図れるか

地域のニーズや事務事業を取り巻く環境の変化を把握できているか

現状よりも効果的で質の高いサービスを提供できるか

独自の発想や工夫に基づく付加価値があるか

##### （２）事業者について

サービス水準を維持向上させる体制になっているか

事件・事故の防止と、事件・事故発生時に的確な対応ができるか

審査結果の分類（A=実施、B=継続協議、C=不採択）

A-1 独自性が高いもの・・・提案自体に知的財産権が認められるようなものは提案者と随意契約

A-2 独自性が比較的高くないもの・・・特別なノウハウ、経験、ネットワークの活用を要するものはプロポーザル（提案者に加点あり）

A-3 独自性がないもの・・・一般競争入札

B 事業者と所管課で事業化を検討し、時年度までに結論を出す

### 3. 提案と採択の状況

#### 提案分野の内訳

分野		平成 18 年度（件）	平成 19 年度（件）
1	まちづくり	6	4
2	防災・減災	1	0
3	みどり・環境	3	3
4	健康・地域福祉・医療・保険年金	1	1
5	子育て支援	5	3
6	高齢者福祉	2	2
7	障がい者福祉	0	0
8	産業経済・区民生活	7	7
9	学校教育	5	3
10	生涯教育・地域文化	2	0
11	区政経営・危機管理	3	8
		35	31

#### 採択事業

	提案名	事業者	採択年度
(1)	債権管理回収業務・現地調査業務	株式会社	18 年度
(2)	地域ぐるみによる学校への地域支援総合推進事業	NPO	18 年度
(3)	公園便所、遊び場便所及び公衆便所の維持管理	組合	18 年度

(4)	税・国保「電話による自主納税呼びかけ業務」	株式会社	19年度
(5)	電話案内による区民健康診査受診率向上施策	株式会社	19年度
(6)	千客万来アクティブ商店街事業、元気を出せ商店街事業	NPO	19年度
(7)	団塊～高齢者のための「セカンド・キャリアプラザ」	株式会社	19年度
(8)	自転車等に関する総合事業	NPO	19年度

#### 採択事業に見る民間のノウハウ・特徴

- (1) 専門の債権回収業者のノウハウ活用、全国ネットの活用で遠隔地への督促も可能、「民間」というだけで回収率アップ、滞納者に対してオペレーターによる納付の呼びかけ、夜間も対応
- (2) 放課後事業・土曜日学校、学校サポーター事業、PTA研修を一体的にNPOが実施
- (3) 住民からの評価を実施し質の向上、常時苦情受付と巡回・対応など
- (6) 対象商店街に対し、事業計画作成から実施、事後報告までを支援
- (7) 高齢者就労支援と区民への就労支援、地域大学での協働の担い手育成

#### 4. モニタリング

委託業務について安全管理、業務の質の維持向上の観点から継続的に点検を行う

契約・仕様通りに履行しているか

安全基準・衛生基準は守られているか

サービスの質の維持向上は

事業者の姿勢やサービスの提供状況は

(履行評価基準表を作成、姿勢、体制作り、人材育成、顧客満足度を評価)

#### 5. 所感

目標を定めたとおり実行している。

行政評価（事務事業評価）が正しくできていることが前提になると思う。

民間化した後の効果を客観的な方法で評価できるかが課題。



すぎなみアニメキャラクター“なみすけ”



5月15日 9:00~11:00 足立区役所

足立区
人口 65万人(外国人 2.2万人) 面積 53km <sup>2</sup> 合計特殊出生率 1.26 高齢化率 20% (荒川を跨いで位置する低地、埼玉県と接する、在日外国人比率や出生率が高いと言われる)
財政規模(20年度予算) 一般会計2074億円 特別会計1343億円(国保、介護、高齢者医療)
区債残高1101億円(H18)、基金残高641億円(H18)、経常収支比率73%(H18)、財政力指数0.32

永井章子 政策経営部協働推進課長  
 半村英夫 政策経営部協働推進課  
 古澤宏行 議会事務局調査係長 らが対応。

**あだち提案型事業と協働推進の取り組み**

**1. 足立区提案型協働推進事業のしくみ**

- 経緯 H14~ 当初、緊急雇用創出が目的
- H16~ 事業アイデア募集・経済活性化
- H18~ ビジネスチャレンジ・技術開発
- H20~ 経済活性化から「協働による外部化、新しい公共、住民参加」の促進へ

**しくみ**

<p><b>ビジネスチャレンジコース</b></p> <p>区内経済の活性化を目的として、事業者が区内で行う事業を支援する補助金事業。                  区内で行う新しい製品・技術・サービスなどの開発を伴う革新的な事業に対し、事業費の一部を補助します。(100万~500万円の範囲で補助対象経費の1/2まで補助、1年以内に売上が出ること)</p>
<p><b>公益活動サポートコース</b></p> <p>平成19年度にスタートした補助金事業。社会貢献団体が行う先進的で公益的な活動を支援する補助金事業。NPOなどの社会貢献活動団体が、地域課題を解決するために行う先進的で公益的な事業に対し、事業費の一部を補助します。継続が条件。(250万円以下で補助対象経費の3/4まで補助、進捗が良好であれば補助率が1/4ずつ下がるが3年間継続可能)</p>
<p><b>公益事業委託コース</b></p> <p>平成20年度からスタートする委託事業。公共的な課題を解決するため、民間の柔軟な発想と実行力に基づく提案を受け、区と協働で地域課題を解決していく委託事業。区が提案者と委託契約を締結し実施する事業で、民間提案と行政提案の二つのコースがあります。(行政提案は、協働による美化意識の向上：路上喫煙・ごみ量の定点調査と美化キャンペーン、多文化共生：外国人向けの日本の暮らし案内と日本語会話講習、足立区内での起業の誘発と支援、築25年以上の分譲マンション管理実態調査)</p>

**審査に際して**

提案書は、知的財産権の問題があるので公開しない、採択したものだけ部分公開。  
 選考委員は8人(部長級職員2人、学者3人、中小企業診断士・税理士2人、区民代表1人)  
 メンバーは非公開で、NPOなどとの関連や接触もチェックする。  
 選考の手当は、1回(最大8hr拘束)18000円×2回程度

評価項目		評価のポイント
公共性	公共的価値	多くの区民に波及、貢献する公共的事業か。

	問題意識	足立区の地域性や区民生活の課題を的確に把握しているか。
	倫理観	公共的事業にふさわしい目的意識、法令順守意識があるか。
的確性	専門性	団体の能力や専門性が活かされる事業か。
	企画の確実性	事業の企画が適切で精度の高いものであるか。
実行性	計画の実行性	事業のねらい、規模、実施の工程、担当、成果目標が明確か。
	遂行能力	団体の活動経験、人員体制、スケジュール等は妥当か。
	継続性	次年度以降の事業計画や事業展開が現実的か。1)
費用対効果	妥当性	収支予算書の記載内容や積算根拠は妥当か。
	確実性	事業総額が成果に照らして妥当か、人件費等に偏りはないか。
協働の有効性		区との役割分担が明確に示され、相乗効果が創出されるか。
プレゼンテーション能力		事業説明や提出資料がわかりやすく正確か。
		事業実施及び区との協議に対し前向きな意欲が感じられるか。
地域加算		足立区内に事務所・事業所等があるか。2)

1) 公益活動サポートコースのみの項目、2) 公益事業委託コースのみの項目

### 審査結果について

先駆性と緊急性に関する項目があっても良かった。

公益活動サポートコースでは、1次審査（書類）を通過後に2次審査（事業提案ヒアリング）。

ビジネスチャレンジコースは別項目、別の選考委員で審査。

議員などの口利きはないそうだ。

<公益活動サポートコース採択結果一覧>		
提案事業名	提案事業の概要	提案事業者(敬称略)
急な発症にも100%出勤保証「こどもレスキューネット」	共働き世帯が直面する病児保育について、非施設型、地域の会員による有料のサポート体制によって解決するシステム「こどもレスキューネット」を実施する。	特定非営利活動法人 フローレンス

<ビジネスチャレンジコース採択事業一覧>		
提案事業名	提案事業の概要	提案事業者(敬称略)
環境と高齢者、女性に優しいリユース可能な操作性の優れた詰替え容器の開発・販売	開閉の操作性に優れ、環境と高齢者、女性に優しいリユース可能な容器を開発・販売する。	株式会社 3Rプロデュース
簡易脱着介護用保温ベストの開発・販売	着脱が楽で保温効果が高く、汚れにくく撥水の布を使用し、リハビリ時にも邪魔にならず、明るい色の介護用ベストを開発・販売する。	株式会社 リバーファッション
新性能(曲り、ねじれがない)極	線ぐせ(曲り、ねじれ)のない最小0.1mm角線までの極細異形線	東京平線株

異形糸線の開発・販売	を開発・販売する。	株式会社
自動つかみ代付粘着テープカッターの開発・販売	現在販売している手動式つかみ代付粘着テープカッターを電動化した自動つかみ代付粘着テープカッターを開発・販売する。	有限会社マサル工業所
LED（青色発光ダイオード）を使った青色防犯灯の開発・販売	従来の明るさだけを求めた夜の防犯から、青色による防犯効果を持つ、LED（青色発光ダイオード）を使った青色防犯灯を開発・販売する。	鳥海工業株式会社
以下は継続申請分です		
多機能薄型二層ガラスの製造・販売	断熱、結露防止、紫外線カット、盗難防止等の効果がある多機能薄型二層ガラスを製造・販売する。	株式会社初台製作所
24V携帯型電気毛布の開発・販売	エンジンを止めて車載のバッテリーとコントローラーバッテリーで毛布を暖める事ができる 24V携帯型電気毛布を開発・販売する。	株式会社ヨシオ
電波時計信号伝送システムの開発・販売	電波時計信号をビル（公共施設、学校、ホテル、病院等）や地下街などの電波不感地帯でも電波が行き渡るようにする機器を開発・販売する。	道電子工業株式会社
自動車整備工場向け高性能ブレーキ研磨機の製造・販売	高性能、低価格、高操作性の自動車整備工場向けディスクブレーキ研磨機を製造・販売する。	株式会社朝日エンジニア

## 2. 足立区における協働の取り組み

### 足立区協働事業実態調査

平成 19 年度に足立区の全所管課に対し調査票による調査を実施。

目的は協働時への理解の向上と、協働事業の進捗度や傾向の把握。

調査結果：19 年度年度 227 件 （18 年度 213 件）

政策経営部	4	総務部	11	区民部	15	産業経済部	16	福祉部	33
都市衛生部	34	衛生部	58	環境部	6	土木部	12	教育委員会	38

### あだち協働ガイドライン

コンサルのリードのもと内部（職員 12 人）で検討しながら作成

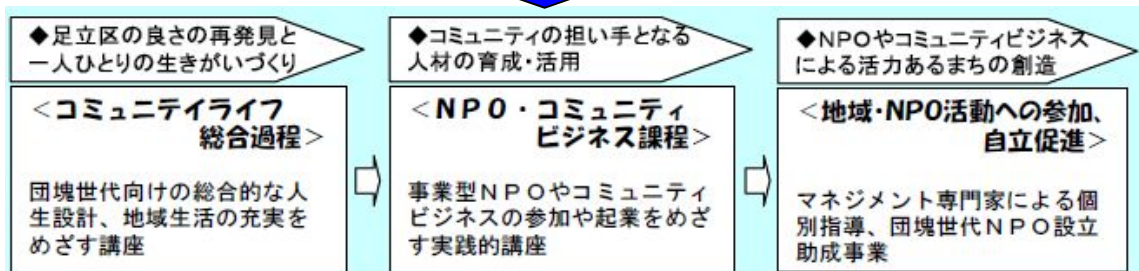
千葉県のを参考にしたが、あいち協働ルールブックはレベルが高い。

我孫子市などでは、対等でない委託・受託関係などは協働の定義に入れていないが、足立区では補助、委託、企画への参画・・・PFI、市場化テストなどあらゆる形態を協働と位置付け、形態に応じた対応を定めている。

第 1 章では、協働についての区の基本的な考え方や基本原則を、第 2 章では、共同で事業を実施する際に必要な手順をまとめた手引書となっている。

## 3. 足立区団塊世代の地域回帰推進事業

H17 年に行ったアンケート結果を踏まえ、団塊世代が地域で生き生きと暮らし、豊かな経験と知識を地域社会で活かすことを目的に 18 年度から事業実施している。



・地域人材の育成活用

・協働のパートナーであるNPOの支援

20年度は、地域での人生設計（地域活動を生きがい） NPO ビジネス講座 生涯学習的な講座の3本柱になっている。

団体助成は、自治会の一部、地域の安全活動、私立学校へ（NPOに対する団体助成はしない）

#### 4. その他・今後の課題

事務事業評価を利用して協働を推進 愛知の「市民フォーラム21」の考え方が参考になる。

団塊サポートサイトを、社会貢献サイトに育てたい。（雑誌相手も兼ねたIT家庭教師派遣など）

丸投げ委託が進むと、役所内のノウハウが失われる恐れがある。

5月15日 14:00~16:00 立川市

立川市
人口 18万人（外国人 3千人） 面積 24km <sup>2</sup> 合計特殊出生率 1.19 高齢化率 18% （多摩地域の中央部にある商業都市、中央線立体化や立川基地跡地に新しい市街地整備が進行中）
H20 一般会計 628億円 特別会計 590億円（競輪、上下水、駐車場、国保、介護、老人医療）
区債残高 395億円（H18）、基金残高 129億円（H18）、経常収支比率 87%（H18）、財政力指数 1.2

新海きよみ 産業文化部産業振興課長

神宮聖治 産業振興課 観光振興・産業政策担当主査

古賀 和香子 たちかわ若者サポートステーション センター長（NPO法人「育て上げ」ネット）

深田則夫 議会事務局長、梅田俊二 議会事務局次長

守重夏樹 副議長 らが対応。

## 若年者就労支援（たちかわ若者サポートステーション）

### 事業の導入経緯

- ・13年より、「育て上げ」ネット（代表 工藤啓氏）が、先進諸外国の状況を先取りし、若年就労支援活動を開始
- ・16年度よりフリーター、ニートを対象に（NPO法人「育て上げ」ネットと立川市で）就労支援する事業「ジョブステーションたちかわ」を立ち上げる。
- ・この事業がモデルとなり、18年度から国の事業として「たちかわ若者サポートステーション」に改称。
- ・19年度以降の立川市の若年就業支援事業としては、「ジョブステーションたちかわ」の名称で、学生・フリーター層の支援をしている。
  
- ・フリーター、ニート状態の推計人口  
国における15～34歳のニートの割合2.47%から推定すると、立川市（15～34歳人口47,901人）には1,183人（人口の0.7%）のニートが潜在している可能性がある。

### 事業内容

窓口相談、講座等の開催、就活セミナー、しごと職業人フォーラム、キャリアコンサル、参加体験プログラム、パソコン開放、親ゼミナールなど

### 支援の流れ

- ・まず、本人または家族が電話で予約、ステーションを訪問
- ・家族と本人は分離して個別に対応
- ・まずは話し相手になる（本人と個別に親身な対応が重要）
- ・1日ジョブトレ（仕事体験）や親ゼミナールなどのプログラムに参加
- ・就職先を選定（とにかく働いてみる、社会に出てみるのが大事）
- ・必要に応じて関係支援機関を紹介

### ポイント（特にニートに対して）

まず、本人と親の気持ちを個別に聞く。相談窓口や多くの講座に行ってみる、聞いてみる。会話ができるようにする。そして、働いてみる。適性がなければ無理に働かなくてよい。失敗しても良い。そこで立ち止まらないこと。ほとんどの若者は就業していないことを家族に対して申し訳なく思い、自分の殻に閉じこもっている。行動範囲を広め、社会の溶け込めるようにすることが大事。

### 実績

これまで約7,000人の来場者、509人登録（約2/3が立川市民）180人のニート状態の若者が就職した。

### 19年度より事業内容を仕分け

ニート支援重点事業「たちかわ若者サポートステーション」…国の委託事業（直接委託1700万円）  
相談支援  
若者キャリア開発プログラム

個人別の一元的フォロー

学生・フリーター（第2新卒）支援重点事業「ジョブステーションたちかわ」・・・市単独事業（委託費200万円）

実施団体の選定、活動拠点の確保  
ネットワークの維持管理、橋渡し  
支援対象者の把握など

・運営主体

NPO法人「育て上げ」ネット

（立川での委託費収入約1900万円＋地元商店街の協力で空き店舗へ入居（家賃は自前））

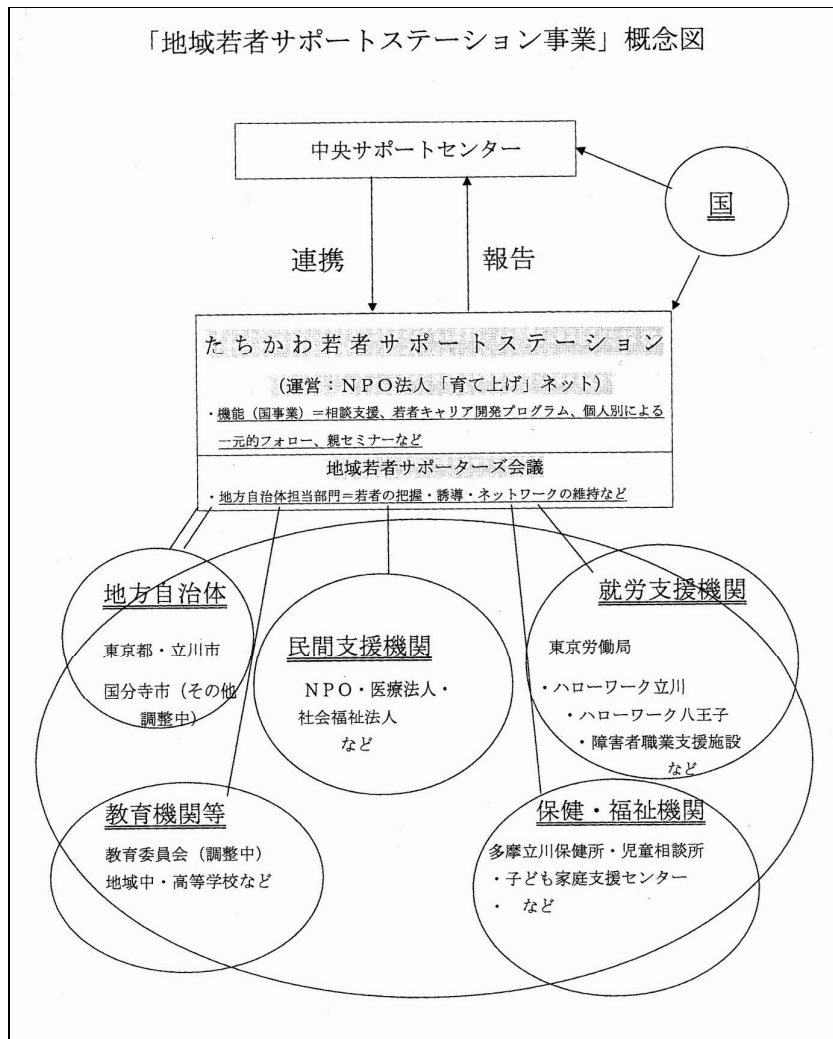
・連携先支援機関

地方自治体（東京都、立川市、国分寺市など）

民間支援（NPO、医療法人、社会福祉法人）

就労支援（ハローワーク立川、八王子障害者支援施設など）

保健福祉、教育等（地域の中学校、高校、多摩立川保健所、児童相談所など）



全国の若者サポートステーション

18年度25か所 19年度50か所 全国77か所で整備終了。愛知県では名古屋と蒲郡に。